

啓光だより

新年度を迎えて



理事長
依田 明

皆様方には、日頃から温かいご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、先般、社会福祉法の一部が改正され、改めて社会福祉法人の公益性、財務規律の強化、事業運営の透明性がますます強く求められるようになりました。

当法人では、社会福祉法人としての役割を踏まえ、新たな事業展開や施設の維持・管理等に必要な中長期の事業計画をしっかりと整えて、より効率的な事業運営を進めて参ります。

そのためまず、経営理念を四月一日より改訂いたしました。

利用者本位の経営、職員参加型の運営を柱に、一層の利用者サ-

発行元

社会福祉法人啓光福祉会

東京都多摩市和田一七一一七

〇四二-三七五-七三〇三

ビスの向上を目指して参ります。

取り組みの一つとして、研修の充実等により人材育成に努め、職員の支援技術の向上や自律を図ることといたしました。

また、「サービス向上委員会」と「虐待防止委員会」を連携させ、全職員で利用者の権利擁護の取り組みを強化いたします。

皆様方におかれましては、今年度も変わらぬご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

就任のご挨拶



啓光学園
施設長
森田 淳嗣

このたび四月一日付けで啓光学園の施設長という大役を仰せつかることになりました。前任の石渡

施設長が築き上げた基盤をしっかりと受け継ぎ、サービスの拡充に

全力を尽くす所存でございます。

また、社会福祉サービスの資源として地域社会に貢献できる施設となるよう努めて参りますので、ご指導、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

着任のご挨拶



啓光学園
総務課長
蔵本 兼作

四月から啓光福祉会の一員となり、微力ながら多摩市在職中の経験も生かし、一日も早く法人の運営に貢献できる力を付けたいと考えております。

また、利用者の皆様に、啓光福祉会の施設を利用して本当に良かったと思っただけできるよう、全力で努めて参ります。よろしくお願いたします。

平成二十八年度

主要事業

今年度は、社会福祉法の改正を踏まえ、諸制度の整備とともに、財務規律の強化や長期ビジョン策

定のため、中長期事業計画検討委員会を設置し、諸課題の見直しを進めて参ります。

施設整備では、3カ所目のグループホームの設置を目指します。施設入所から地域生活支援を基本に、専任職員の下で利用者支援の向上を図って参ります。

啓光学園では、前年度に完成した「さくら作業所」での新たな日中活動を進めます。

啓光えがおでは、これまでの活動に加え、多摩市障害福祉ネットワーク「たまげんき」の共同受注に参加し、新たな作業にも取り組み、工賃アップを目指します。



啓光学園 さくら作業所完成

事業所紹介

啓光学園

啓光学園は児童から成人の利用者の一堂が、大きな集団の中で生活しています。幼少期や児童期では生活習慣が身につくよう、青年期では将来に向けて生活する力が持てるように支援してまいります。一方、成人の利用者の方は、日の仕事ではやりがいを感じられる空間と、夜間や休日ではリラックasできる環境を提供していき、幼



園庭の桜は今年も満開となりました

少期から成人期までのライフステージに応じたサポートを利用者一人ひとりに合わせて提供することを基本方針として掲げています。支援の実践としては、より多くの選択肢の中から自己決定が出来るよう、情報提供方法の工夫に努めてまいります。また、利用者の余暇の充実に向けてサークル活動の設立なども計画してまいります。

最後に職員の専門性の向上として、利用者の障害特性や、言葉のない方に対するコミュニケーション方法の確立、利用者に接するマナー等の専門知識を習得するための研修と、生活支援職員がチームとして利用者支援に携われるよう、階層別役割を学ぶ研修に多くの職員が受講できる体制を今年度も引き続き整えて参ります。

なかまの樹

二十八年度が始まりました。今年度も利用者さん6名でのスタートです。これまで以上に良い



利用者が散水ボタンを押しています

施設にしていくように職員一同努力してまいります。よろしくお願ひ致します。

今年度は人事異動や、定年退職などで、なかまの樹を離れる職員が数名おり、それと同時に新たになかまの樹に入ってくる職員がおります。すでに新たな体制での支援が始まっておりますが、利用者や家族の方等、関係者の方に暖かく迎えて頂くことが出来ました。なかまの樹では、利用者一人ひとりが、色々な仕事としての作業や活動にチャレンジし、さまざまな事を体験出来、一日いちにちが楽しく充実したものになるように支

援を行っていききたいと思えます。まだ、なかまの樹が出来て8年、和田に引越してきて2年目という歴史の浅い施設ではありますが、皆様のご理解とご協力に支えられ、今日に至っております。これからも利用者お一人おひとりの需要に応じた支援を行ってまいります。

今年度もなかまの樹をよろしくお願ひ致します。

啓光えがお

今年度、啓光えがおでは以下の3つの「柱」を中心に支援を進めてまいります。

まず、啓光えがおが「働く場」として価値あるものとなるよう、作業の提供を行い、施設外での作業や販売にも力を入れ、「たまげんき」に参加して受注活動を充実させていきます。また、菓子製造営業に向け、営業許可手続を進めていくとともに、作業室を一部改築し菓子製造作業が提供できるようにします。

つぎに、「楽しめる場」として、歳時記や年間行事を実施するとともに、地域で開催される行事への



「休める場」として庭に休憩スペースを整備

参加支援を行います。また、係や利用者の発案による行事を増やしていきます。

そして、「休める場」として、啓光えがおが「働く場」であるばかりでなく、休息が出来る場でもあるということを感じていただけるよう、知識の拡充と支援の工夫をしてまいります。また、当施設ご利用中の状況により通院等の支援を行います。緊張緩和の取り組みにつきましても、見直しと更新をしていきます。

この他にも、皆様の実情に応じた様々な支援をしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

春の人事異動

() 内は旧職場

新採用



啓光学園
生活支援係
持田 蓮

4月より生活支援員として入社しました持田蓮です。先輩職員の間を見ながら、日々成長していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。



啓光学園
生活支援係
吉井 まどか

4月から入社した吉井まどかです。3階フロアに配属させて頂きました。早く仕事を覚えられますよう一生懸命に頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

異動

啓光学園

- 《昇任》 総務課総務係主任
(総務課事務係) 島村陽子
- 《昇任》 生活支援係主任
(生活支援係) 菅藤将
- 《昇任》 生活支援係さくら作業班班長
(生活支援係) 中富綾乃
- 《昇任》 生活支援係リサイクル・園芸班長
(生活支援係) 小山静香
- 《昇任》 生活支援係和田作業班班長
(生活支援係) 遠藤徹
- 《昇任》 生活支援係2階フロア班長
(生活支援係) 楠健己
- 《昇任》 生活支援係3階フロア班長
(生活支援係) 豊田佳世
- 《異動》 啓光学園生活支援課
(なかまの樹) 市川亮子
- 《異動》 啓光学園生活支援課
(啓光えがお非常勤) 高橋久美子

- 《異動》 啓光学園生活支援課看護師
(なかまの樹看護師) 木村真美
- 《異動》 なかまの樹
(啓光えがお非常勤) 瀧真樹

啓光えがお

- 《昇任》 生活支援係主任
(生活支援係) 八幡一
- 《昇任》 工芸・デザイン係班長
(啓光学園) 山本新太郎
- 《昇任》 生活支援係加工製作係班長
(生活支援係) 藤田美子
- 《昇任》 生活支援係園芸・バイオ係班長
(生活支援係) 大嶋弥生子

退職

- 石渡久雄(啓光学園施設長・事務局長)
- 並木貴子(啓光学園看護師)
- 清原美織(啓光学園生活支援課)
- 梅原善直(啓光えがお生活支援係)



啓光福祉会では、利用者の皆様に楽しんでいただくべく、職員が工夫を凝らしてイベント等の企画・実施を行っています。本欄では、最近実施された各事業所のイベントのご紹介をさせていただきます。



**各事業所
イベントの取り組み**

啓光学園
節分の日、リビングに飾り付けを行い、夕食も色とりどりの具材を使用した海苔巻や天ぷらなど、ふだんとは違った雰囲気を出して、皆さんに楽しんでいただけるようにしました。



なかまの樹

桜が見ごろとなった4月初旬、見事な桜の木がある聖蹟桜ヶ丘駅前までお花見に出かけました。うららかな春の陽気を感じ取っていただけたことと思います。



啓光えがお

今年も、2人の新たな利用者の方々をお迎えし、入所式を開催しました。昼食はテラスで召し上がっていただきました。



各事業所連絡先

- 啓光学園
〒206・0001
東京都多摩市和田1717
Tel 042・375・7303
- なかまの樹
〒206・0001
東京都多摩市和田1730・3
Tel 042・356・4006
- 啓光えがお
啓光相談支援センター
〒206・0032
東京都多摩市南野3・15・1
Tel 042・376・5044
- 啓光ホーム石村
〒206・0012
東京都多摩市一ノ宮4・27・12
Tel 042・339・7513
- 啓光ホーム伊野
〒206・0003
東京都多摩市東寺方645・2
Tel 042・319・3380

編集後記

新年度を迎え、各事業所ともそれぞれ新体制で業務を開始しております。これからも、皆様のニーズに沿った、多様な支援を展開してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(広報編集委員会)